

研究指導 石光 真 教授

福島市におけるメロディーバス導入の効果

金山 歩夢

1. 研究背景

1.1 メロディーバスとは

福島県福島市では、東京2020オリンピックや朝ドラによる観光客に古閑裕而をPRすることによって福島市を盛り上げ、かつ福島市中心市街地の利便性の向上を目的として「古閑裕而メロディーバス」の運行が開始された。コンセプトは「移動音楽館」であり、車外前方にあるラップ型スピーカーや、車内に設置してある波動スピーカーから音楽が流れる。主に作曲家の古閑裕而さんにまつわる音楽が流れている。[1]

メロディーバスは福島駅東口を起点として反時計回りに古閑裕而記念館や福島県文化センターなどを経由して約1時間に1本の間隔で運行されている。[1]

メロディーバスの運賃は市内循環もりんバス(100円バス)と同一区間は100円で運行されており、他の区間は駅からの距離に応じて運賃設定されている。

また、福島市役所への聞き取り調査から「古閑裕而メロディーバス」は福島市が福島交通へ委託して運行がされていることが分かった。

1.2 路線バス利用者数と運転免許保有数

福島市で平成28年度に計画された「福島市地域公共交通網形成計画」によると年々路線バスの輸送人員が減少していることが分かる。[2]

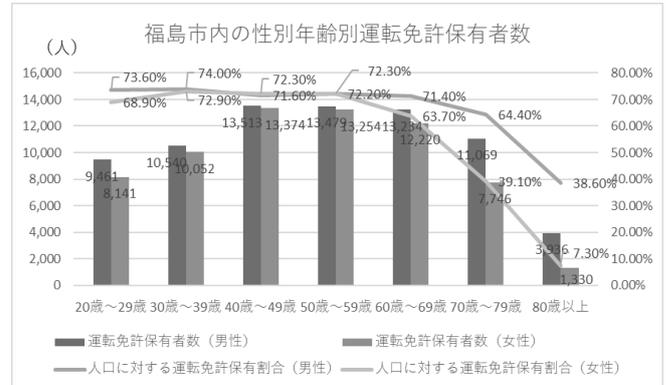
表 1 福島市路線バスの年間輸送人員(千人)

H元	10371	H14	6180
H2	9963	H15	6102
H3	10117	H16	5956
H4	9836	H17	5926
H5	9217	H18	5627
H6	9109	H19	5389
H7	8733	H20	5270
H8	8214	H21	4866
H9	7706	H22	5001
H10	7352	H23	5684
H11	7030	H24	5299
H12	6797	H25	5412
H13	6276	H26	5013

出典[2]より筆者作成

また、福島県警察本部交通白書R4によると人口に対する運転免許保有割合は60歳から年齢が高くなるにつれ低くなっている。[3]

図 1

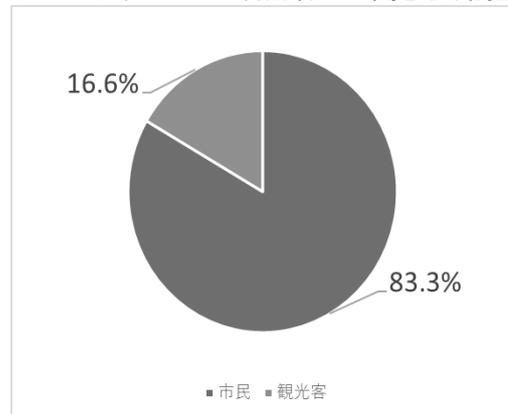


出典[3]より筆者作成

2. 事前調査

2022年9月に福島駅東口メロディーバス乗降口にて6人に行った聞き取り調査によると83.3%の人が福島市民の方が利用していることが分かった。

図 2 メロディーバスの利用者への聞き取り調査



聞き取り調査から筆者作成

また、福島市役所に行った聞き取り調査からメロディーバスの運行当初は観光客の方が多く利用していたが現在は地域の方が多く利用されているということが分かった。

3. 先行研究

山田(2014)は観光が地域外からの誘客という側

面をもつ以上、もっぱら地域内における評価のみによって観光資源としての可能性を判断するのは危ういことになる。また、観光資源化に取り組む対象を選択した後に取り組むべきことは地域文化の可視化であるとしている。可視化の効用は地域外からの観光客への訴求だけではなく、地域内においても、子どもたち、若い世代に既存の地域文化を継承していく上で、その存在が目に見えることには大きな意味があるとしている。さらに目に見えるものとは視覚だけではなく、聴覚も含まれる。[4]

橋本(2004)は「聴覚的観光資源」を、土地固有の雰囲気演出する要素として、観光地に欠かせない存在と論じている。[5]

4. 研究目的と新規性

福島市におけるメロディーバス導入の効果を計る。メロディーバスに関して過去の研究がないため、新規性がある。

5. 調査方法

事前調査から現在地域の方にメロディーバスが利用されていることが分かった。そこでメロディーバスの効果を地域から計るため、「古閑裕而メロディーバス」の停留所である、「豊田町郵便局前」、「成蹊高校」、「成蹊中学校」、「東浜町南」、「児童公園」、「児童公園入口」、「浜田町」、「福高前」、「森合緑地公園」、「県立美術館入口」周辺の住宅200軒にアンケート調査を行った。

6. 調査内容と調査結果

6.1 アンケート項目

- ①性別
- ②年齢
- ③古閑裕而メロディーバスを知っているか。
 - ・はい ・いいえ
- ④古閑裕而メロディーバスを利用したことがあるか。
 - ・ある ・ない→⑦へ
- ⑤どのようなときに古閑裕而メロディーバスを利用していますか。(複数回答可)
 - ・通勤 ・通学 ・通院 ・買い物 ・その他
- ⑥路線ルート、運賃、発着時刻等が同じ場合、通常のバスと古閑裕而メロディーバスのどちらを利用したいですか。→⑧へ
 - ・通常のバス ・古閑裕而メロディーバス
- ⑦古閑裕而メロディーバスを利用しない理由。(複数回答可)
 - ・路線バス自体あまり利用しない ・発着時刻が合わない ・運賃が高い ・その他
- ⑧古閑裕而メロディーバスについての感想や意見をご自由にお書き下さい。

6.2 調査結果

図 3 アンケート項目①の回答

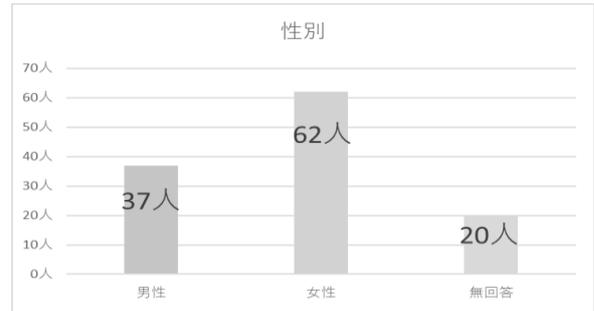
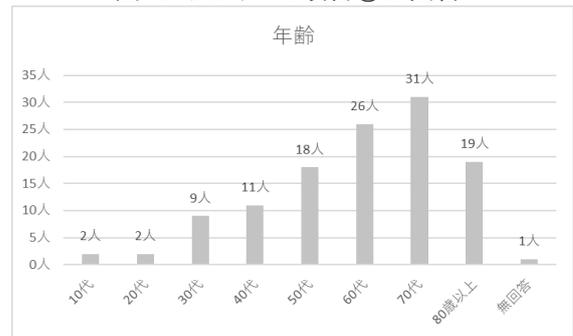


図 4 アンケート項目②の回答



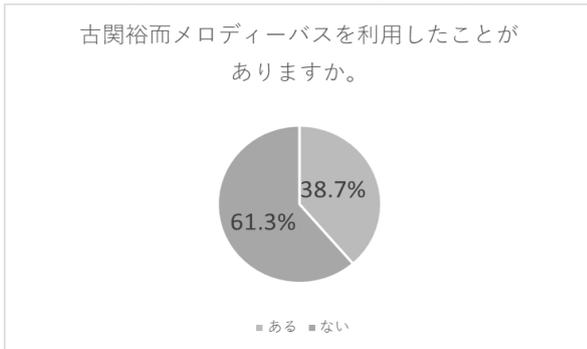
アンケートは200のアンケート回答依頼に対して119の回答をいただいた。うち女性の方の回答率が高く、年齢をご高齢の方に多く回答していただいた。

図 5 アンケート項目③の回答



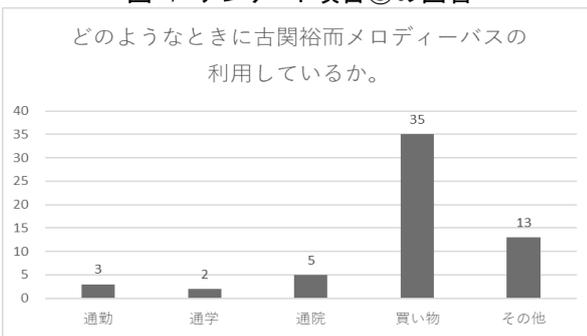
アンケート調査を依頼した住宅はメロディーバスの停留所周辺ということもあってメロディーバスの認知度は非常に高かったといえる。

図 6 アンケート項目④の回答



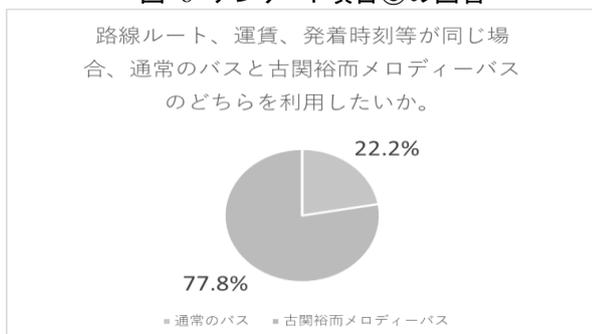
利用したことがある方は119人中46人で38.7%、利用したことがない方は119人中73人で61.3%であった。

図 7 アンケート項目⑤の回答



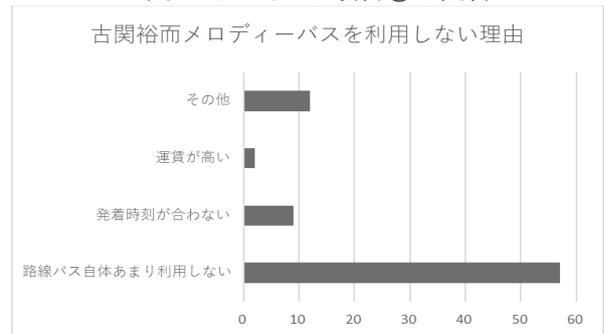
古閑裕而メロディーバスを利用したことがあると回答した方のうち通勤で利用すると回答した方は3人で5.2%、通学で利用すると回答した方は2名で3.4%、通院で利用すると回答した方は5名で8.6%、買い物で利用すると回答した方は最も多く35名で60.3%、その他と回答した方は13名で22.3%であった。その他とした中では駅に「用事があるとき」や「子どもが乗りたがっていたから」などがあつた。

図 8 アンケート項目⑥の回答



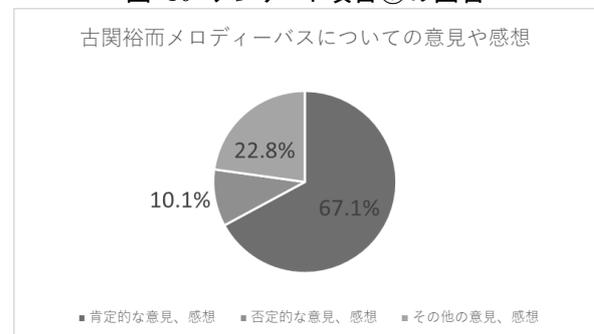
古閑裕而メロディーバスを利用したことがある方で路線ルート、運賃、発着時刻等が同じ場合、通常のバスを利用したいと回答した方は10名で22.2%、古閑裕而メロディーバスを利用したいと回答した方は35名で77.8%であった。

図 9 アンケート項目⑦の回答



古閑裕而メロディーバスを利用したことがない方で利用しない理由として路線バス自体あまり利用しないと回答した方は57名で71.3%、発着時刻が合わないと回答した方は9名で11.3%、運賃が高いと回答した方は2名で2.5%、その他と回答した方は12名で15.0%であった。その他と回答した方の中では、運行本数が少ない、座席数が少ない、自家用車を持っているからなどがあつた。

図 10 アンケート項目⑧の回答



アンケートの古閑裕而メロディーバスについての意見や感想についての自由回答欄は119件いただいた回答のうち85件で記入があつた。回答いただいた中で「良いと思う」や「明るい」、「楽しい」などのメロディーバスに対する肯定的な意見、感想と「うるさい」や「印象に残らない」などの否定的な意見、どちらでもないその他意見、感想の3つに分類した。肯定的な意見、感想は57件あり67.1%、否定的な意見、感想は8件あり10.1%、その他の意見、感想は20件あり22.8%あつた。具体的な肯定的な意見、感想としては「いつも元気な音楽が流れているので明るい気分になります。」や「福島市の活性化に大変良いと思う。」などがあつた。否定的な意見、感想としては「沿線に住んでいるが通るたびかなりうるさいので、できれば本数を減らしてもらいたい。」や「存在は知っているが印象に残ってないのが正直なところ。」などがあつた。比較的年齢が若い方が否定的な意見、感想で年齢が高い方が肯定的な意見、感想を持っている傾向があつた。

7. 結論

通常路線バスとメロディーバスとを比較したアンケート項目⑥の回答からメロディーバスの方が通常のバスよりも利用を働きかける効果があるということ、アンケート項目⑧の「街の雰囲気作りに役立っている」や「街を走行するだけで活気づくと思っている」などといった回答よりメロディーバスに対して肯定的な印象を抱いている方が多く、街を活性化させる効果があることが分かった。

8. 今後の課題

今回のアンケートはメロディーバスの停留所周辺の住宅だったため認知度は非常に高く、利用者も多い印象だったが、メロディーバスの沿線ではない場所や市外からの観光客など、より広範囲に調査対象を広げることによってさらに正確なメロディーバスの効果が出るため今後の調査課題としたい。

謝辞

本研究において、ご多忙の中、インタビュー調査にご協力して下さった福島市都市政策部交通政策課交通政策係の鈴木裕輔様、アンケート調査にご協力して下さった方々に対して改めて御礼申し上げます。

参考文献

- [1] 福島市
<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/koutsuu-seisaku/kurashi/kotsu/kotsukikan/melodybus.html>
- [2] 福島市地域公共交通網形成計画
<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/koutsuu-seisaku/kurashi/kotsu/kotsukikan/documents/koutsuu-ukeikakur4.pdf>
- [3] 福島県警察本部交通白書 R4
https://www.police.pref.fukushima.jp/oshirase/twp_index.html
- [4] 山田 晴通 「地域文化の観光資源化に関する政策提言のための理論的枠組み」 (2013)
<https://repository.tku.ac.jp/dspace/bitstream/11150/6541/1/komyu40-05.pdf>
- [5] 橋本 俊哉 「観光と「聴覚」—その役割と活用に関する考察—」 (2004)
https://rikkyo.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=6266&item_no=1&page_id=13&block_id=49